

泉美術館 特別展「広島 memory」関連イベントのご案内

トークイベント

いま知ってほしい、未来に伝えてほしい 「ジョン・ハーシーの『ヒロシマ』と検閲」

講師：繁沢 敦子 / 聞き手：渡部 朋子

どうして米国では原爆の悲惨さが知られていないのか。
被爆から1年後、世界に原爆の悲惨さを伝えた、
20世紀No.1著書、ジョン・ハーシーの『ヒロシマ』を紐解きながら、
原爆と検閲についてのお話をお聞きします。
未来を担う若者にぜひ参加してほしいプログラムです。

日時：2023年7月1日(土) 14:00～

会場：泉美術館

定員：100名(ご予約順・参加無料) ※「広島 memory」展覧会チケットが必要です。

※トークイベントのご予約は、泉美術館代表電話【082-276-2600】までお申し込みください。



©Keiko Hori

繁沢 敦子(しげさわ・あつこ) 神戸市外国語大学外国語学部英米学科准教授

神戸市外国語大学卒業後、読売新聞記者や編集者、フリージャーナリストを経て、2016年から同大学外国語学部英米学科准教授。広島市立大学国際学研究科博士課程修了。博士(学術)。スティーブン・オカザキ監督映画『ヒロシマナガサキ』(2007年)で共同プロデューサー。主要業績に『原爆と検閲』(中公新書、2010年)、「ジョン・ハーシーの『ヒロシマ』再考—66年目の視点で読み解く—」『広島国際研究』(2012年)、「『革命的な兵器』か、『強力な爆弾の一つ』か? : 原爆の威力をめぐる言説と米戦略爆撃調査団報告書」『歴史学研究』(2016年11月)など。



渡部 朋子(わたなべ・ともこ) 特定非営利活動法人ANT-Hiroshima理事長

1953年広島市生まれ。法律事務所の事務局長を務める傍ら、まちづくりや国際協力活動・平和教育・平和文化交流などの市民活動にたずさわっている。

1989年にANT-Hiroshimaを設立して以来、広島から平和を伝えつづけるとともに、アフガニスタンの難民支援やパキスタンの地震復興支援などにも力を注いでいる。また、広島市民や子どもたち、広島を訪れる海外の研修生などを対象として国際理解や平和教育を実践し、独自の平和構築活動を行ってきた。

元広島市教育委員会委員(平成24年10月3日任期満了)、公益財団法人広島平和文化センター理事ほか。

泉美術館特別展

広島 memory

2023年6月17日(土)～8月27日(日)

11時～17時(入館は16時30分まで)

【休館日】月曜日(祝日7月17日は開館)

入館料：一般 300円/学生(高校・大学生)100円/中学生以下無料

公益財団法人

泉美術館

〒733-0833 広島市西区商工センター2-3-1 エクセル本店5階

TEL 082-276-2600 FAX 082-276-2612

<https://www.izumi-museum.jp/>

